



脳神経外科 (脳卒中センター)



対象疾患

- ・未破裂脳動脈瘤、くも膜下出血(破裂脳動脈瘤)
- ・脳腫瘍
- ・脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻
- ・脳内出血
- ・脳梗塞(脳血管狭窄または閉塞症、頸動脈狭窄)
- ・水頭症
- ・慢性硬膜下血腫
など

特に外科治療を要する疾患を中心として診療を行っております。

脳神経外科で行う主な検査:

CT、脳血管3D-CT、MRI・MRA、脳血流シンチグラム(SPECT)、
脳血管撮影など。

病状に応じて常に低侵襲な検査を行うようにしております。



スタッフ紹介

医師名【役職】	出身大学/取得年	専門分野	資格等
<small>しのみや かずたか</small> 四宮 一剛 【副部長・ 脳卒中センター兼務】	 奈良県立 医科大学 2005年	脳神経外科 一般	日本脳神経外科学会: 専門医 日本脳卒中学会: 専門医
<small>たなか たかのり</small> 田中 孝憲 【医長・ 脳卒中センター兼務】	 奈良県立 医科大学 2005年	脳神経外科 一般	日本脳神経外科学会: 専門医 日本脳卒中学会: 専門医
<small>にしやま あきら</small> 西山 徹 【医長・ 脳卒中センター兼務】	 徳島大学 2010年	脳血管内治療 脳神経外科 一般	日本脳神経外科学会: 専門医 日本脳神経血管内治療学会: 専門医 ONYX実施医 日本スポーツ協会公認スポーツクター Flow Diverter(実施医)
<small>おのうえ たくみ</small> 尾上 拓未 【医員・ 脳卒中センター兼務】	 徳島大学 2022年	脳神経外科 一般	



特色

地域の中核病院として、脳卒中診療においては、24時間体制で対応しております。特に脳梗塞超急性期治療であるt-PA療法や血栓回収術も24時間施行可能です。

手術は全身麻酔で行われますが、その間に運動や感覚神経の機能をモニタリングしながら、後遺障害を残さないように行っております。

血管内治療は高難度症例に対しても対応可能です。各種シャント疾患(AVMやdAVF)に対する液体塞栓物質(ONYX)を用いた治療や、FlowDiverterを用いた大型脳動脈瘤に対する治療も実施しております。

また脳健診も対応しておりますのでご相談ください。



実績

